



読解スキル養成ドリル

「読解スキル養成ドリル」とは

日本語の文章を読み取る力の確認を目的とした教材です。

「読解スキル」は、論理的思考力やコミュニケーション力を支える基盤として、大学での学びや、これからの社会で必須の能力です。入学前教育の期間に「読解スキル養成ドリル」に取り組み、この力をしっかりと身に付けましょう。

問題例

何を指しているかを考える

読解スキル養成ドリル
経過時間 00:00:21
何を指しているかを考える(3)>

問題 5

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

通常、鳥は飛びながら空中で止まることができません。しかし、ハチドリは止まることが出来ます。なぜでしょう。通常、鳥は羽を上下に動かします。それに対してハチドリは前後に動かします。

問 下線部「それ」とは、どういふことを指しているか。正しいもの一つ選びなさい。

- ハチドリは空中で止まることができること
- ハチドリは羽を前後に動かすこと
- 鳥は空中で止まることができないこと
- 鳥は羽を上下に動かすこと

図を説明する

問題 5

次のグラフは、「〇×スーパー」を利用する客の数を、年代別と時間帯別にグラフにしたものである。これを見て、あとの問いに答えなさい。

問 このグラフからどのようなことが読み取れるか。その内容として正しいもの一つ選びなさい。

〇×スーパー (10:00~19:00) の年代別利用客数

時間帯	70~80代	40~60代	10~30代
10:00~13:00	~100	~130	~50
13:00~16:00	~100	~140	~50
16:00~19:00	~100	~120	~50

- 「〇×スーパー」では、3つに分けたどの時間帯でも40代から60代の利用客が最も多い。
- 「〇×スーパー」では、3つに分けたどの時間帯でも300人以上の客が利用している。
- 「〇×スーパー」では、午前中の10：00～12：00は40代から60代の利用客が最も多い。
- 「〇×スーパー」では、40代から60代の女性の利用客が最も多い。

収録教材一覧

教材名	学習のねらい
話題をとらえる	主語・述語やキーワードに着目して、その文章の話題（主題ではない）を、大まかにとらえられるようにする。
題名をつける	
言葉と言葉の関係を考える	
言葉の順序	文の修飾関係や並立関係を正しくとらえ、文の細部まで理解できるようにする。態を正しくとらえ、文の内容を理解する。
文の書き換え	
省略された内容を考える	文中に省略されている部分を補い、正確に理解する。
呼応関係をとらえる	呼応の副詞について、その呼応の決まりを正しく使えるようにする。
接続関係をとらえる	接続語の働きを理解し、それをもとに文章のつながりを正しくとらえる。
まとめる言い換え, 説明する言い換え	
具体例で言い換え	表現や接続語などに注意して、文中にある言い換え表現を見つけ出し、それをもとに文章の内容を整理する。
比喻で言い換え	
何を指しているか考える	指示語の指す内容を正しくとらえることで、文のつながりを理解する。
対比されているものを考える	文中で何と何が対比されているのかをとらえ、その構造をもとに文の内容をとらえる
対比関係の整理	
理由は何かを考える	どこどこが因果関係になっているのかをとらえ、それをもとに文章の内容を正しく理解する。
文を分ける	
文をまとめる	文のつながりを要素に分けて考え、意味が変わらない文を作成する。
文章を図で表す	
図を説明する	文章の内容と非テキスト（図）の対応を正しくとらえ、それを表現する。